

瀬尾 ころろ

SEO Kokoro



multiple exposure

紙本着彩

multiple exposure

私は、日本画を描くうえで夜と音楽をテーマに制作してきた。一人で過ごすことの多い夜は音楽を聴きながら空を眺めて物思いにふけり、深夜に作品の構想を練るために私にとって大切な時間である。静寂な夜の中で描きたいものや構成のイメージが膨らみ作品の基が生まれる。色彩に囚われることなく、そして絵本のようなあたたかさを意識しつつ、夜の落ち着いた雰囲気やゆっくりと時間の流れる空間を表現している。

また、思い入れのある音楽を聴いて感じたことや、心に響いた歌詞、印象に残った心地よい音などを、自分なりに視覚化していく。音楽を聴くとき、決して歌詞に忠実というわけではなく、あくまでも作品を生み出すきっかけとして制作に取り入れている。

本作品《multiple exposure》は私の好きな曲からタイトルをとったもので、夜の静けさと日々生きていて感じた生きづらさや葛藤、辛い中でも訪れる希望の兆しを表現している。《multiple exposure》は日本語で多重露光を意味し、一コマの写真に複数の写真を重ね合わせていく撮影方法である。また、その曲の歌詞には「そう生きづらい そう生きづらい そう言い切れない 僕らは迷った鳥」*1 と暗い表現で内面が書かれている。しかし、この曲の歌詞や音には、生きるうえで起こりうる喜び、悲しみ、葛藤など様々な感情が込められている。だからこそ私は、生きる意味や迷えることのありがたさなど生きることに積極的な歌だと私は感じた。

私自身もその歌詞と同じように暮らしの中で生きづらさを味わいながらも、それでもこの先も生きていきたいと願うことがある。夜という私にとって大切な時間に日々抱く生きづらさや、一言では言い表し難い自身の複雑な内面、心に残った音楽や風景などを《multiple exposure》と重ね合わせた。これから先も私にとっての夜の重要さや音楽がもたらす力はずっと変わらないだろう。生きるうえで起こるあらゆる出来事や感情を表現を通して受け止め、自分と向き合っていきたい。

*1 サカナクション

「multiple exposure」『夜の踊り子』
ビクターエンタテインメント(2012)